南海地震に備える 〈21〉

香川県防災局　乃田　俊信

こんなことご存じですか？(2)

【避難するとき、ドアへの張り紙は危険！】

阪神・淡路大震災では、被災した家の玄関やドアに、「○○避難所にいます」といった趣旨の張り紙をよく見かけました。これは、電話がかかりにくくなった（通常ピーク時の50倍程度通話が集中）ため、家族と行き違いにならないように、また、訪問者に無事なことや居所を知らせるために行ったものと思われますが、私としては、お勧めはできません。不審者にわざわざ「この家は、当分の間留守です」と教えているようなものです。事実、火事場泥棒的な盗難が多数発生しました。

では、災害時の連絡方法はどうすればいいのでしょうか。

まず、普段から連絡方法や落ち合う場所などを、家族みんなでよく話し合っておくことです。特に、どこの避難所に避難するかを確認しておきましょう。

次に、携帯電話のメールや災害用伝言ダイヤル「171」を利用しましょう。携帯電話のメールは同時に多数の人が同じネットワークを利用できるため、音声電話に比べて通じやすく、災害発生時でも有効な連絡手段といえます。また、災害用伝言ダイヤルの使い方は、「わが家の防災対策BOOK（香川県）」などでご確認ください。

【地震で停電した場合、ローソク（ライター）は使うな！】

地震で停電した場合に、ローソクを使用するのはとても危険です。それは、地震によってガス管に亀裂が入ったりガス栓が外れたりし、部屋などにガスが充満して、点火した瞬間に爆発する可能性があるからです。安全な懐中電灯を準備（できれば各部屋に）しておきましょう。

台風などによる停電の場合には、ローソクを使用しても問題ありません。

【車を運転中に大地震に遭遇したら、車を捨てる？】

答えは、半分はNOです。車を運転中に大地震に遭ったとき、どのような行動をとるかは、その時どこを走っているか（一般道か高速道路か）によって大きく異なります。

一般道の場合は、まず、いったん左側に停車し、周囲の状況、特にその場所が安全かどうかをよく確認し、危険な場合は、駐車場など安全な場所に移動してください。そして、ラジオなどで情報収集しましょう。急いで車を捨てて避難しなければならないのは、危険な場所に止まって動けない場合や火災が迫っているときなどです。

高速道路の場合は、迷わず車を離れて避難しましょう。高速道路では、揺れが増幅され、阪神・淡路大震災のときのように橋脚などが壊れて大惨事になるおそれがあります。そこで、ハンドルを取られないようにしっかり握って後続車に注意しながら減速し、左側に止めて非常用階段から避難します。

新潟県中越沖地震で、災害救助犬（中央）も動員して倒壊した建物の下に行方不明者がいないか調べる消防署員ら＝柏崎市西本町で今年7月17日午後3時、長谷川直亮撮影

【次号のテーマ】

次号では、「講演時の疑問・質問」についてお話しします。